



高知県
北川村役場
広報

玉伝やぶ



3

No. 703

Mar 2025

祝 国道493号(北川道路2-2工区)和田トンネル 開通

令和7年2月8日

長さ 2230m

非常通報装置

高知県
国道493号整備促進期成同盟会

北川村の人口・世帯数

令和7年1月31日現在 ()は前月比

人口	1,178人 (+1)
男	576人 (+2)
女	602人 (-1)
世帯数	626戸 (+1)
世帯問題 の総人口	1,203人
世帯問題 の世帯数	631戸

2月8日(土)和田トンネル開通式典(02)に関連記事)

北川道路「和田トンネル」開通式典を開催しました

四国8の字ネットワークを構成する地域高規格道路として、高知県が整備を進めてきました北川道路2-2工区 延長4.0kmのうち和田トンネル区間の2.7kmが2月8日(土)に開通しました。

開通式典では、山崎正恭衆議院議員、広田一参議院議員、梶原大介参議院議員、濱田省司高知県知事をはじめ、多くの来賓、地元関係者など100人が出席し、トンネルの開通を祝いました。

本道路の開通により、災害危険箇所を28箇所回避でき、また、所要時間が11分から3分に短縮されます。

通り初めを行った地域住民からは「車同士のすれ違いに苦慮する区間が解消され、安全・安心に通行できる」と喜びの声が聞かれました。



第2回安芸郡市東部芸能発表会 第43回東部美術展・第38回ふるさと名勝写真展

1月18日(土)田野町ふれあいセンターにおいて、第2回安芸郡市東部芸能発表会(安芸郡市文化協会主催)が開催され、北川村からは「やまなみ太鼓」、「日舞 花藤会」が出演しました。多くの方にご来場いただき、会場は大いに盛り上がりました。

また1月24日(金)から27日(月)の4日間、「馬路村集会センターうまなび」にて、第43回東部美術展・第38回ふるさと名勝写真展(安芸郡市文化協会主催)が開催され、安芸郡市町村から約160点の作品が出展されました。



北川村PRプロジェクト

北川村教育委員会
公営探究塾「知らんけど」
担当：山本・北川

1月24日(金)に濱田高知県知事が小中学校を視察されました。滅多にない貴重な機会なので、プロジェクトメンバーは東京で行ったPR活動の報告をさせていただきました。一人一人、30秒ほどの報告文章を自分たちで考え、知事の目を見ながらしっかり伝えることができました。知事からも、「皆さんの北川村を大切に思う気持ちが伝わってくる素晴らしい取り組みでした。これからもぜひこのような活動を続けていってください」というお言葉もいただき、緊張していたメンバーの顔にも笑顔が戻ってきました。また1つ、メンバーたちがパワーアップした素敵な経験になりました。



.....

知らんけど...

探究塾のなりきりラボは、いよいよ最後のテーマ「エレキエンジニア」に入っています。

1つの機械を作る中で、活躍するエンジニアは大きく分けて3種類あります。1つ目は、目に見える機械の仕組みを組み立てる「メカエンジニア」、2つ目は、システムなどの目に見えない仕組みを作るプログラマーとも呼ばれる「ITエンジニア」、そして3つ目が、機械とシステムをつなぐ回路を組み立てる「エレキエンジニア」です。子どもたちは、クイズや実験を通して電気の性質を理解したり、実際にブレッドボードと呼ばれる回路の基盤を使い、抵抗やLED、ジャンパ線などをつないで回路を組み立てたりしています。

このテーマのゴールは、オリジナルのエレキおもちゃを作ることです。トランジスタやコンデンサーなど、初めて触る部品についても、この部品がどのような働きをするのか理解することから始まります。難しい回路もありますが、明かりが付くと面白さと達成感に満ちた笑顔！自分たちが書いた企画書や、電子回路設計図通りにエレキおもちゃが作れるのか?! どんなおもちゃが完成するのか楽しみです。





小学校

1 人権学習発表会

1月18日(土)に人権学習発表会を行いました。

中芸手話サークルの方から学んできた手話や歌を発表し、1・2年生は「オリジナル・スマイル」、3・4年生は「できっこないをやらなくちゃ」、5・6年生は「365日の紙飛行機」の各曲を思いをこめた手話で表現しました。

5・6年生は聴覚障がい者の方に自分のことを伝えたり質問したりして、手話で楽しく会話ができました。

休み時間には、1～4年生も積極的に聴覚障がい者の方々と交流する姿も見られました。自分の手話が通じたことがとてもうれしかったようです。

また、手話サークルの高橋靖子さんが、「家を建てる時に、手話のできる方が手伝ってくださり大変助かった」というお話をしてくださり、改めて手話の重要性を感じました。

聴覚障がい者の方と交流し、思いを伝え合うことができたことで達成感を味わうとともに、さまざまな方たちと交流していく大切さを学ぶことができました。これからも学んできたことを生かして、人とのつながりを大事にしていきたいです。

全校「ふるさと」



5・6年



1・2年



3・4年



運営委員会…手話で司会を頑張りました!



交流タイム



2 北川村連絡協議会(村連協)

1月15日(水)に北川村連絡協議会があり、保育所や中学校の教職員、教育委員会の方々が小学校の授業を見に来てくださいました。

参観後は、知(学習部)徳(人権部)体(生活部)の部会に分かれ、各部会の共通の取り組みについて成果や課題を出し合い、園児・児童・生徒の様子について話し合いをすることができました。保小中、委員会と連携して、北川村の子どもたちの成長に向けて取り組んでいます。



1・2年



3年



4年



5年



6年

3 3年生 いのちの教育

1月21日(火)に助産師の方を講師に招き、3年生がいのちの教育を行いました。いのちの誕生やいのちの大切さ、思春期の心の発達について学ぶことができました。妊婦体験などの活動を通して、今の自分のことやこれからの将来のことを考えるよい機会となりました。



4 濱田知事と北川中学生との交流!



1月24日(金)に「濱田が参ります」北川村訪問により、濱田高知県知事が来校されました。北川村PRプロジェクトメンバーは東京PRの活動報告を、中学生は知事に質問をさせていただきました。お話を聞く中で、高知県への温かい思いと強い志が伝わってきました。

生徒たちに「みなさんが北川村のために取り組んでいること、とてもうれしく思います。みなさんがそれぞれの夢の実現のために県外に行かれた場合でも、高知県の応援団としてPRして行ってほしいです。そして、高知を忘れないで、また高知に帰ってきてほしいですね。これからも、自分の夢に向かってどんどん成長して行ってください」と励ましのメッセージをいただきました。

質問タイムの後は記念撮影をして、サプライズでハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。この日は、知事の誕生日の翌日だったので、とても喜んでくれていました。



生徒の感想

★知事は、温厚な方で質問にも優しい笑顔で返答してくださったので楽しい時間となりました。知事が高知県のことを真剣に語ってくださったので、これから私も頑張っていきたいです。

★知事の話聞いて、共感できることもたくさんありました。自分は、北川村(高知県)に残るつもりなので、しっかり知事が言っていたように地域に貢献していきたいです。



5 今年度最後の参観日(お別れスポーツ大会・生き方学び講座)



1月25日(土)に参観日を開催しました。3・4時間目は3年生との「お別れスポーツ大会」、お昼からは「生き方学び講座」で北川村役場の総務課兼経済建設課 課長補佐 町村様を講師にお招きしてお話を聞きました。「お別れスポーツ大会」では、ラグハンドという競技をし、なかなかハードな競技でしたが、みんなが声をかけあってできていました。そして、「生き方学び講座」では講

師自らの体験や経験、日頃の疑問から学びが広がっていったので、みなさんも学びや日常の中の疑問から探究心を高め、将来への夢のアンテナを張り巡らせてほしいと語ってくれました。保護者・地域の方々にも、たくさん参観していただきありがとうございました。



議会だより

発行責任者
議長 岩垣 實男

令和6年

第4回議会定例会

令和6年12月定例議会は、12月17日に開会し、中芸広域連合規約の一部を変更する規約について、北川村建設発生土処理場の利用に関する条例の一部を改正する条例について、一般会計補正予算などの議案の審議が行われました。

18日には、4氏が5件の一般質問を行い、閉会しました。

行政報告（抜粋）



上村 誠 村長

■むらづくりの推進

むらづくり推進委員会の前半のテーマは「村の永続」。人が住みたい村・人が集まる村となるための施策案のうち、実現の可能性が高いものは、25年度の実施を念頭に、委員と各課が共同で検討を行っている。今後事業化していくものについては、県の人口減少対策総合交付金の活用なども考慮して取りまとめる。

後半のテーマ「業務改善」については、11月に委員会を開催し、職員アンケートを参考に業務状況について協議を行った。今後は業務改善について各課内で話し合ったうえ、改善案を取りまとめる。

■脱炭素推進

北川村脱炭素事業推進プロジェクトにおいて、令和10年度までに4基の小水力発電施設の整備を計画しており、蛇谷から宗ノ上、矢筈谷、平鍋の順に各施設を整備する。本定例会では、このうち矢筈谷地区小水力発電施設整備に係るボーリング調査・単価更正等の予算を計上している。

また蛇谷地区小水力発電施設整備工事については、11月に承認、同月8日に工事請負契約を締結、同月20日に着手している。

北川村全体で脱炭素を促進するため、各家庭などで省エネ設備等の購入補助金を活用してほしい。11月末現在の補助金交付決定状況は、電気自動車1件、エアコン39件、給湯器8件、LED10件。

また、北川村全体の地球温暖化対策をまとめた実行計画策定のため、カーボンニュートラル推進委員会を12月に開催。高知大学や高知工科大学の委員、脱炭素先行地域の共同提案者、村内の代表者による委員会で見解をいただき、今年度中の策定を目指す。

■第1次産業の振興

○農業研修生

産業行動構築プランに基づく「担い手の確保」については、今年度2人目、通算11人目となる農業研修生を令和7年2月に採用予定。村では新規就農者の目標を年3人とし、うち2人を農業研修生で確保するとしている。近年、人口減少にともない担い手の獲得競争が激化しているが、一番有効な施策は起業家農業研修生たちが「農業で生活できる収入を得て、村に住み続けている」実績。今後も最優先課題として起業家農業者の定住に取り組む。

○ほ場整備

「優良園地の確保」については、第2期北川モデルの島工区が9月着工を予定していたが、入札不調により11月4日に着工したと県から聞いている。ほ場整備工事の全体的な進捗は、他の公共工事と合わせて入札可能な工事業者が不足していることから、野友の圃場整備を含め工事が遅れている状況。

10月には財務省並びに農林水産省を訪問。生産性の向上や管理の省力化を実現するた

め、中山間地域特有の地形を考慮したほ場整備について要望を行った。新規農業者育成の取り組みなどについては、起業家農業研修生が村に定着できていると高く評価された。

○販売力の強化

10月、ゆずのPRと販路調査を目的に、パリで行われた国際商品見本市へ北川村ゆず王国とともに参加した。販促活動のほか、現地のゆず関連商品やゆず玉の販売状況、北川村ゆず王国の経営戦略についても情報収集を行った。パリでは、ゆずは多くの人に認知されるとともに「特別感のある食材」として高く評価されており、ゆずに特定したバイヤーも数多くみられた。現地の高級食材店ではアフリカ産ゆずがレモンの約5倍の値段で販売されていたが、香りが全く感じられないなど日本産と比べ品質に大きく差があり、今後の販路拡大に優位な材料の一つであると感じた。

北川村ゆず王国の経営戦略に関しては、ゆず果汁の確保に関して不安があることや生産性向上ため工場拡張をしたいという意向があることが確認できた。村としては、永続できる村となる重要施策・産業構築の柱であるゆず栽培を軸とした農業において、生産振興は絶対条件と考えている。故に、生産量の増加に伴う販路を確実に備えなければならぬので、地元企業であるゆず王国をはじめ、取扱事業者における北川村ゆずの販売促進に関する課題にしっかりと対応していく。

○慎太郎とゆずの郷祭り

県内外に北川村の魅力を積極的にPRするため、慎太郎とゆずの郷祭りが11月10日に開催された。過去最大の約2,400人が来場し、ゆずの収穫や搾汁体験、グルメ出店、よ

さこい演舞、ゆずの足湯などを楽しんだ。加えて、株式会社「スウィーツ」と村が共同開発した「ゆず香る里のシヨリサブレ」の特別先行販売が行われ、用意した100箱が午前中に完売し、好調なスタートを切った。

■生活基盤の整備等

村道弘瀬線の道路改良事業については、8月に測量設計が完了し、9月に工事請負契約を締結した。地域に密着した生活道であるため、地区との調整を密に図り安全の確保及び利便性の向上を図っていく。工事の完成は令和7年3月を予定。

四国8の字ネットワーク、阿南安芸自動車道の一部となる国道493号整備に向けた進捗について。北川道路2-2工区の和田トンネルでは現在、舗装や照明などの仕上げ工事が順調に進んでおり、令和7年2月8日に開通式を予定。開通後は北川村温泉をはじめ中北部への往来、そして今後のゆずの搬送などの物流・観光などの交流人口増加を期待している。

北川道路1工区の安倉と和田間については、用地買収が完了しているニタ又と小島と和田間において、本年度から山切り工事のための仮橋や路側擁壁などの工事が順調に進捗していると聞いている。

○宅地造成

人口減少対策の一環として野友角木地区に整備する宅地造成については、7月から用地買収に着手し、10月23日に全19地権者と契約の締結が完了した。また、関係する許認可の農地法にかかる申請を9月12日、都市計画法の開発許可申請を10月25日に済ませ

た。許可後は速やかに所有権移転登記を行い、来年度の工事着手に向けて取り組む。

■防災・地震対策

防災備蓄品については10月末に契約を行い、今年度中に全村民の一週間分の非常食や保存水が各避難所等に配備できる予定。

○個人住宅の耐震化

11月末現在、診断10件、設計8件、改修工事6件の申請を受け付けた。令和6年度から8年度までの3年間を耐震化促進強化期間とし、補助額の引き上げによる自己負担の軽減を図っていることから、前年度と比べ申請は増加傾向にあり、今後とも広く呼びかけを行う。また老朽化住宅の除却は、相談5件、除却完了3件。

■日本一元気な長寿村づくり

特定健診の受診率は、10月末の速報値で42・98%と前年度同月から4・11ポイント増加。保健福祉推進員が集団健診後の未受診者に対し、継続的に個別勧奨を実施するとともに、健康年齢の特典付き勧奨はがきを送付するなどの啓発を行っている。年度末まで医療機関での個別受診が可能なので、今後も周知及び勧奨に力を注ぐ。

○保健事業と介護予防

あつたかふれあいセンター事業と連携した、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について。これまで9会場44教室を開催し、延べ283人が参加。9月以降は、歯周病、誤嚥性肺炎防止とともに、口腔機能の低下に伴う低栄養及び脱水症状防止のための口腔ケアについてチェックし、状態の現状把握

と改善方法について学習している。参加者からは、口腔内の乾燥対策や舌がん対策についての質問があがっており、意識改善が図られていると感じている。

○糖尿病重症化予防

現在59人を対象に事業を実施している。このうち11人が重症化予防プログラムに同意し、かかりつけ医と連携しながら栄養指導に取り組み、数値の改善が見られている。また同意に向けて個別対応中の方が46人おり、事業の参加促進にむけ、保健福祉推進員を中心に取り組んでいる。

■観光の振興

○北川村「モネの庭」マルモッタン

9月から11月末までの入園者数は90・258人(対前年同期比▲18・4%)。らんまん効果の落ち着きに加え、令和5年に実施された全国旅行支援キャンペーン終了の影響があるが、入園者数の減少は想定内。しかし、コロナ禍前の令和元年同期の65,721人と比較すると、37%の増加に転じている。

11月2日から12月8日まで開催された「モネのナイトキャンパス」では、打ち上げ花火や謎解き、ボルデイグラの庭で満天の星を鑑賞するイベントを開催し、大盛況だったと聞いている。

また令和7年、アンパンマンの作者であるやなせたかし夫妻を描いた連続テレビ小説「あなぱん」が放送され、モネの庭は同年4月19日に25周年を迎える。これらが契機となり、やなせたかし先生の描いたモネのキャラクターを発見、権利を有する事務所から使用許可を得たので、「あなぱん」効果による集客

アップ及び認知度向上につなげていく。本定例会では、やなせ先生作の幻のキャラクター「きたがわモネさん」について、ごめんなはり線モネの庭号のデザイン変更やモネコメント作成等に係る予算を計上している。

○北川村温泉

9月から11月までの宿泊と日帰り入浴を合わせた利用者数は10,788人(前年同期比▲5・0%)。10月28日から31日までの4日間、温泉の修繕等により休業したが、利用者数にはそれほど影響は生じなかった。今後、和田トンネルの開通により、往来に対する安全・安心の向上が見込まれるので、利用促進につなげたい。

温泉水の取水量不足については、先の4日間、温泉水源井戸のポンプ取り替え及び洗浄作業のため温泉を休業して実施した。この作業により、北川村温泉の営業及び地区への排水に必要な取水量は回復したが、小島地区への配水については、日浦及び影の両地区において、配水管に漏水が確認された。日浦地区については修繕を済ませたが、影地区においては依然として1日当たり約3tの漏水箇所が断定できていない。小島地区への配水が困難な状況が続いており、調査を続けている。

なお、今後はこの度の取水量低下問題を踏まえ、井戸洗浄作業期間を5年ごとから4年ごとに短縮し管理に努める。

○フランス訪問

「クロード・モネの家と庭」の前館長であるウググ・ガル氏の墓参および新館長アラン・シャルル・ペロー氏への挨拶のため、10月15日(24日の日程でフランスを訪問した。

墓参と合わせて、フランス芸術アカデミー

終身書記や庭園管理責任者、オルセー美術館元学芸長などに面会・懇談。さらにシベルニー村役場、フランス日本大使館などの関係先を訪問し意見交換を行った。

■ふるさとときたがわ寄附金

件数 528件(10月末現在)

(前年度同期 2,163件)

寄附額 6,858千円(10月末現在)

(前年度同期 20,268千円)

件数・寄附額とも昨年度を大幅に下回っている。今年度は新たに3つのポータルサイトを開始したが、寄附金額に結びついていない状況。役場のマンパワーが足りない中、今後どのような体制で取り組んでいくことができるのか、来年度に向け検討する。

■教育関係

○マスタープラン策定

15年間の一貫した子育て教育環境整備プロジェクトにおける子育て教育ビジョンの実現に向けたマスタープランについて、12月に高知県教育長をはじめ、県教委の職員に説明し「もっと特色があってもよいのではないかなどアドバイスをいただいた。今後はマスタープランのさらなる磨き上げを念頭に、県からのアドバイスを考慮し「子育て教育ビジョン」の達成に向けた取り組みを進める。

○食育活動

11月13日に鹿児島県「ひより保育所」の古川氏を迎え、みどり保育所の園児と小学1・2年生、保護者など総勢25人が味噌づくりを体験、15kgを仕込んだ。完成は5月頃を見込んでおり、学校給食等に活用する予定。

○公設公営塾

11月3日、株式会社ウテナ・ウエルシアとの連携協定に基づく「ゆずハンドクリーム」のPRを、8人の児童生徒が東京の「まるごと高知」で実施した。子どもたちはお客様に積極的に声をかけ、笑顔で北川村を紹介。「今回の経験を生かし、別のイベントでも北川村をPRしたい」という感想があり、また株式会社ウテナからも来年度も一緒に活動したいという提案があった。今後ブラッシュアップさせながら取り組む。

○中岡慎太郎館

11月末までの入館者数は4,890人(対前年度比32・7%)。上半期は開館30周年記念イベントや企画展を開催し、前年度より増加した。入館者数の目標達成に期待する。

また11月17日には中岡慎太郎墓前祭が開催され、多くの来場者で賑わった。当日は遺髪埋葬墓地での神事の他、高知県青年団協議会による寸劇やよさこい演舞等さまざまな催しが開催され約300人が訪れた。

■中芸広域連合関係

以下の事業について報告

- ①消防救急業務について
- ②火葬場業務について
- ③介護保険業務について

■工事発注等の状況(12月1日時点)

区分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
現年予算	29	14	7	89・7%	50・0%
繰越明許費	26	12	7	85・7%	50・0%
現年予算	29	14	7	89・7%	50・0%
繰越明許費	26	12	7	85・7%	50・0%

：一般質問：



尾崎 一馬 議員

保育所、小・中学校の給食について

問 昨今の物価高騰の影響は各家庭を直撃しているが、保育所、小・中学校の食材も同様な状況にあると考える。

答 保育所では「あつたかご飯の日」の取り組みが行われているが、現状はどうか。

答 教育長

令和5年度の園児数は25人、給食費2,034,522円。2歳児までが完全給食、それ以上が副食給食で「あつたかご飯の日」には持参したごはんを炊いたり、食材の調理をして、昼食を楽しむ食育が行っている。調理員は正職員1人、会計年度任用職員1人の2人体制で実施している。メニューは中芸広域連合の栄養士による献立を活用している。

問 小中学校の現状について、生徒の負担額と提供体制はどうか。

答 教育長

児童生徒数は、小学校34人、中学校16人の50人。負担額は小学校が1食296円、月

額5,100円、中学校が1食347円、月額6,000円。提供体制は、調理員正職員1人、会計年度任用職員2人の3人体制で実施しており、献立表やカロリー計算等については、栄養教諭が担当している。

問 令和5年1月と令和6年4月に給食費を増額しているが、給食費の高騰についてどう考えるか。また、食材購入先の集約などの工夫により費用の抑制が図れないか。

答 教育長

給食費の増額については、食材の値上がりはつきりした状況ではないが、先々では考えられると思っている。

次に保育所と小中学校の食材の合同調達などが考えられるが、まずは現場での実施の可否、ニーズなどを聞いていきたいと思っている。また、対策の一つとして「給食を活用した食育充実プロジェクト」というテーマを置いて、「企業版ふるさと納税」をこの11月より開始している。

問 今の物価や食材費の高騰、学校現場での苦労を考え、また、保育園児や児童生徒数の推移を見ても、ぜひ何らかの援助が必要と考えるがどうか。

答 教育長

今後は、自ら栽培する野菜などを給食で活用したり、地域食材の使用を強化するため、「企業版ふるさと納税」にも取り組んでいる。当然、保護者への負担増はできるだけ避けたいと考えている。そつなる前にどの

ような方法があるのか選択肢の一つとして、これらの取り組みにチャレンジしていることをご理解いただきたい。

小島集会所の 太陽光発電設備について

問 12月広報誌議会だよりに小島集会所の太陽光発電設備について掲載されていたが、村長の答弁等に齟齬や相違や、何か補足する答弁はあるか。

答 村長

定例会で答弁したことについては、相違ない。また、この度小島山菜グループに提示する金額は精査の結果、1キロワットアワー当たり27円と現状での算出が決定したが、永年固定となるものではなく、今後増減があることは否めないと考えている。現在の電気代は1キロワットアワー当たり34円だが、これは今協議中で還元率還元額が定まっていないことを考えると、いくばくかこれは減額されることになるだろうと考えている。早期に小島山菜グループに対し、これらを提示し、太陽光発電施設で発電した電気を活用するか否かを決めていただく予定。

問 発電後の余った電気について、四国電力への売電価格は決まっているのか。

答 村長

既にF-T制度が始まって期間を越えたものなどもある中で、現状1キロワットアワー当たり7円と設定されているので、7円とな

る見込み。

問 例えばEVバスの充電設備整備など小島集会所での利用拡大計画はあるのか。

答 村長

隣接する北川温泉に電力を送ることができないか検討した経緯があるが、送電するための費用が概ね2,000万円ほどかかることが、試算の中で出てきたので、断念せざるを得ない状況。また、EV車両の電力供給については、役場周辺で充電設備を整える予定になっている。走行距離についても1日当たり満充電で約200キロ走ることができるので、実証を重ねていく中で、小島の集会所、あるいはそれ以外において、どうしても1つ必要だとすれば設置することになると思っている。

問 小島集会所の蓄電量はどのくらいあるのか。集会所での想定需要量は1日当たり11キロワットになると思うが、災害時にどの程度対応できるのか。

答 村長

災害時は蓄電した電力以外にも日中は発電している電力も利用可能。蓄電池の容量は、15キロワットで集会所大広間の活用ができる程度のポリウムがある。それ以外の部屋については夜間の利用はできないことになる。

問 災害時の電気として利用するという答弁について、1日持つか持たないかというこ

とにならないか。

答 村長

蓄電池については、停電時に一部のコンセントと照明に電気を供給し、活用することが目的。停電時でも蓄電池には太陽光発電設備から発電された電気が充電され、電気を確保することに対処するもの。また、日中の発電がゼロになることはないだろうと思っている。



平岡 章秀 議員

小水力発電所工事について

問 蛇谷発電所工事の施工管理についてどのように考えているか、また小水力発電所工事4箇所において、北川村振興公社が今後どのような関わり方をしていくのか。

答 村長

蛇谷川小水力発電施設整備工事の施工管理については、発電施設の設計から施設管理までの実務経験を有する技術者を有していることに加え、設計見直し業務を受注し、設計内容に精通している北川村振興公社と12月3日に契約を締結している。

次に、北川村振興公社との今後の関わり

方については、宗ノ上川、矢筈谷川については、蛇谷川と同様に設計・施工管理、加えて完成後の維持管理までをお願いしたいと考えている。平鍋については、施設自体が電源開発株式会社の敷地内に整備することとなるため、電源開発と設計から完成後の維持管理までの協議を重ね、今後必要な方針を決定したいと考えている。今後の小水力発電施設4基が動き出すことを考えると、北川村振興公社の人員体制、特に技術者の確保が重要であると考えており、村としては、体制整備に向けて必要な支援に努める。

問 平鍋については、ダム的工作物ということで県への許可申請を電源開発が行っていると思うが、今後の許可申請について、村と電源開発どちらが行うのかなど、整理のうえしっかりやってもらいたい。

また、施設の維持管理については、電気関係1人、いろんな土木工作物の保守などをするのに2人が必要と考える。できるだけ振興公社に負担が掛からないような方策をとっていただきたい。

答 村長

現在電源開発株式会社のほうで許可を得ているうえに、村が設置することに対して県の許可が必要なものもあるようなので、そうした手続きは抜かりなく順次進めていきたいと考えている。

また、完成後の管理については、電気、土木それぞれ必要な人員も伺っている。そうした体制について完成をにらみながら振興公社と協議を図っている。



和田 和恵 議員

脱炭素事業推進プロジェクトの 進捗状況について

問 事業の進捗状況はどうか。

答 村長

小水力発電施設について、令和5年度から宗ノ上・蛇谷の設計単価構成等に着手し、今年度蛇谷の工事に着手している。完成は令和8年度の見込み。宗ノ上については、来年3月の議会定例会において、工事費を予算計上できるよう努めている。矢筈谷、平鍋は設計単価更正等の予算の議決をいただいているので、遅滞なく進める。

また、北川村温泉と小島集会所については、今年度中に太陽光・蓄電池設備が完成予定。

住民の皆様にご活用いただくことができる省エネ設備等の購入補助金は既に開始しており、順調に申請をいただいている。

EV車両については、代替バスや公用車の導入に関して、昨日予算の議決をいただいたので速やかに対応を講じる。

本プロジェクトは、令和10年度までの計画期間となっており、期間内に全ての事業が完了するよう取り組む。

問 脱炭素先行地域に係る計画事業の1つでも達成できなければ先行地域から外されるのか。

答 村長

脱炭素先行地域における選定については、環境省が規定する民生部門のCO₂排出ガスをゼロ以下にすることが求められている。小水力発電、太陽光発電蓄電池、省エネ設備整備、営農型ソーラーシェアリング、車両EV化の5つの事業計画を提出し、認められたもの。したがって、1つの事業が実施できなくなったからといってすぐさま選定が取り消されるものではないが、実施できなくなった事業に対して代替案を示し、変更が認められなければ、選定を取り消されることになる。

問 評価委員会から講評で指摘された事項への対応も含め、確実に事業を実施していくための取り組みは。

答 村長

講評の中でも特に注目されている事業は「再生エネルギーの売電単価」について。四国電力と協議中であることから、速やかに価格を決定するとともに、早期の事業着手に向けて取り組みを進めることが必要とされている。この価格によって村民の皆様への還元率・還元額に直結するので最重要事項。そのため、じっくり丁寧に、速やかに作業を進めなければならないと考えている。既に四国電力と本格的な協議を開始しており、令和7年1月にエネルギー資源庁とも協議をしたいと思っている。現時点で一番早く稼働

が見込まれている蛇谷地区小水力発電施設の完成が令和8年度を予定しているので、電気代の単価については、遅くとも令和7年度中に決定したいと考えている。

問 令和7年4月には地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画を策定、公表しなければならないが、どのように進めていくか。

答 村長

地方公共団体実行計画については、脱炭素先行地域の選定時策定した計画を基に、北川村の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出量の削減等を行うための施策を定めるもの。故に、再生可能エネルギーや温室効果ガス削減に向けた取り組み、温室効果ガスの削減目標などを定めることとなる。

実行計画を策定するにあたり、先の計画策定に関わっていただいた高知大学や高知工科大学の教授、脱炭素推進事業の共同提案者、住民の代表の方々を委員として、北川村カーボンニュートラル推進委員会では2050年を想像した議論を行い、策定することとなる。本委員会については、本日18日に1回目の会議を開催し、ご意見をいただいた後、パブリックコメントを募集し、2月に2回目の委員会を開催し案を策定する予定。

問 脱炭素事業計画の中で役場庁舎関係の整備について、6月の一般質問をした折に、さらに速度を速められるよう措置を図るとの答えだったが、その後の進捗状況はどうか。

答 村長

この役場庁舎については、省エネに対する太陽光発電設備等を設置する計画があった。しかし、現状における太陽光発電の設備では、発電量等を含めて設置できる台数等、量が決まっているので、なかなか設置することが難しいということが判明している。そこで調べていく中で、ペロブスカイト太陽電池という国の機関である「国立研究開発法人産業技術総合研究所」で有力視されている電池がある。この電池が今の状況では令和8年度に量産化が見込まれているので、しっかりとその辺りを調査している。この調査によって対応できることになれば、この庁舎だけではなく、村民会館も含めて対応できるのではと考えている。

問 脱炭素への取り組みに伴い、地域課題の解決・地域経済循環への貢献が期待されるところだが、特に住民の暮らしの質の向上とということに対してどのように考えているか。

答 村長

北川村全体で脱炭素を促進するためには、村民皆様の意識を醸成し、各ご家庭で省エネに取り組んでいただくことが必要。そこで、住民の皆様は省エネに関心を持ち取り組んでいただけるよう、省エネ基準を満たした設備等の購入補助金、エアコン、給湯器、LED照明、電気自動車について、今年度から実施している。

そして、小水力発電施設で発電した電気

についてもできる限り安く、各々家庭へ届けられるようになれば、全国に先駆けて「村民みんなが再エネ活用の村」となり、あわせて物価高騰対策にも通ずるものと考えている。これらの取り組みを成就することにより、村内全世帯でクリーンな電気を活用することを含め、暮らしの質の向上にもつながると考えている。

問 障害者、軽度障害者の雇用への取り組みとして、脱炭素先行地域の協議段階では農福連携により農業用水を活用した園芸に取り組みたいという旨を伺ったことがあるが、これから将来に向けた取り組みの1つとして考えられないか。

答 村長 今の事業を進めていく事業体制において、さらに負荷をかけるのは厳しいので、この軽度障害者の農福連携における事業については、下調べをしている現状。

ただし、先ほどの質問にあつた実行計画、2050年を目指しての中に組み込まれるようであれば組み込みを行い、後々対応していけるような対応を図るべきだと考えている。

問 村民の皆様暮らしの向上につながるの一番大切であり、皆様にご理解、ご協力をしてもらわなければならないと思う。そのためにも十分な説明、周知をお願いしたい。

答 村長 今後の展開の中で変更点等があれば、通

知、あるいは広報等でお示しいければと思っている。行き着くところは住民の暮らしの質の向上。経済的にも電気代が安くなれば、何らかの形でほかに使うこともできるので、そうしたことも含め対応できるように努める。



濱渦 康雄 議員

村道の維持管理について

問 村道落合宗ノ上線の草刈りには、過去は年2回春と秋に行っていたが、今年は春1回しか刈らなかった。他地区の村道も春1回にしたのか。幹線道路は年2回必要と思うがどうか。

答 村長

村道落合宗ノ上線の草刈りについては、平成29年度まで、宗ノ上地区と年2回の契約を行い実施。しかし、平成29年度に宗ノ上の地区代表者から、地区住民の人数が減少したことにより、人数を集めることが大変になつてきたことを理由に年1回の実施としたいという相談があり、平成30年度から年1回の実施となつた経緯がある。ただ、必要な箇所には必要な手を入れるべきだと痛感

している。今回このご質問を契機に、幹線道路はもちろんのこと人家の有無及び交通の往来を勘案した維持対策の実施が必要と考えるので、令和7年度からの開始に向けて、対応方法、対象路線などの整理を行い当初予算に反映してまいりたい。

なお、幹線道路については現時点で年2回の草刈りを実施すべきかと考えている。1回目の実施が大体5月の下旬、7月ぐらいまでには実施したい。2回目は8月の下旬までに契約し、ゆずの収穫前10月中旬ぐらいまでに実施できればというスケジュールを進められるように対応する。

問 今回の質問の前に担当課に確認をしたところ、村道落合宗ノ上線の草刈りは年2回の契約になっているということだったので質問をした。他にも村有地の維持や予算要求のタイミミングなど各課予算の執行管理や進捗管理にさまざまな面が見受けられるがどうか。

答 村長

事業の進捗管理、予算の執行管理について、不手際等あることは認識している。また、その原因の1つとして私自身が副村長を任命してないということもあるかと考えている。そういったことを含めて、住民の皆様には極力迷惑がかからないような対応については、再度課長会での検討も経て、速やかな対応ができるものは速やかに対処し、また7年度以降になるものは7年度以降しっかりと対応していけるよう、しきつてまいりたいと思う。

・議案審議・

◇条例◇

北川村建設発生土処理場の利用に関する条例の一部を改正する条例について

用地買収が完了した安倉地区建設発生土処理場について、建設発生土の受入れを開始するため改正を行うもの。

↓全員賛成(原案可決)

北川村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に伴う一般職の国家公務員の俸給表の改定及び期末手当、勤勉手当の額の引き上げに準じて、一般職員の給料表の改定及び期末手当、勤勉手当を引き上げるために必要な改正を行うもの。

↓全員賛成(原案可決)

北川村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に伴う一般職の任期付職員、国家公務員の俸給表の改定及び期末手当の引き上げに準じて、一般職の任期付職員の給料表の改定及び期末手当を引き上げるために必要な改正を行うもの。

↓全員賛成(原案可決)

村長等の給料及びその他の給与並びに旅費支給条例の一部を改正する条例について

国の特別職の期末手当が引き上げられたことから、村長等の期末手当の支給率を国の特別職の改定率に準じて必要な改正を行うもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

北川村議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

村長等の期末手当の改正を行ったことに伴い、議会議員の期末手当を村長等の期末手当の改定率に準じて必要な改正を行うもの。

↓ 賛成多数(原案可決)

◇ 補正予算 ◇

令和6年度北川村一般会計補正予算(第5号)について

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業や林道島日浦線災害復旧工事等に要する経費等を計上するもの。

↓ 賛成多数(原案可決)

【修正動議】

原案に対して尾崎一マ議員から補正予算減額の修正動議が提出された。矢野地区小水力発電施設設計単価更生等委託業務に係る予算37,620千円を全額削除し、歳入歳出それぞれ136,300千円増額し、予算の総額を3,254,331千円とするもの。

↓ 賛成少数(否決)

令和6年度北川村代替輸送特別会計補正予算(第1号)について

村営バス(EV車両)購入に要する経費を

計上するもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

令和6年度北川村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

一般被保険者療養給付費等に要する経費を計上するもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

令和6年度北川村一般会計補正予算(第6号)について

人事院勧告に伴う特別職、議会議員、一般職員等の給与の改定に要する経費を計上するもの。

↓ 賛成多数(原案可決)

令和6年度北川村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

人事院勧告に伴う会計年度任用職員の給与の改定に要する経費を計上するもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

◇ その他 ◇

中芸広域連合規約の一部を変更する規約について

地方自治法第291条の3第1項の規定に基づき、中芸広域連合規約の一部を変更することについて、地方自治法第291条の11第1項の規定に基づき議決を求めるもの。

↓ 全員賛成(原案可決)

・活動報告・

■ 総務産業建設常任委員会

◇ 日時 令和6年10月1日(火)

◇ 内容 総務産業建設常任委員会現地視察
脱炭素先行地域の一環として取り組んでいる小水力発電施設の整備予定箇所を視察。



◇ 日時 令和6年10月3日(木)～4日(金)

◇ 内容 総務産業建設常任委員会視察研修

岐阜県高山市において、環境モデル都市・

脱炭素先行地域の取り組みとして「飛騨高山モデル」について説明を受け、現在稼働中の小水力発電施設2箇所の現地視察を行った。



◇ 日時 令和6年10月18日(金)及び21日(月)

◇ 内容

・ 令和6年度一般会計及び

特別会計予算執行状況について

・ 令和6年度への

繰越事業執行

状況について

各課より、予算執行

状況及び各事業の進捗

状況について説明を受

け質疑を行った。



議会を傍聴して

みませんか

議会では、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と臨時会が開かれています。

皆さんが明るく住みよい暮らしができるように、みなさんから出された意見を聞き、質疑等を通じて、村の予算や契約、条例などの最終的な決定をしています。村の事は議会と村長がお互いに意見を出し合い、協力して進めています。

本会議の開始時間は午前10時です。会議の様子を直接見たり、聞いたりできます。令和6年第4回定例会の傍聴者は延べ8人。

次回、令和7年第1回定例会は3月です。ぜひ、傍聴に足をお運びください。

令和6年9月議会以降の岩垣實男議長会務報告

- 9月11日(水) 北川村議会第3回定例会(北川村庁舎)
 9月12日(木) 第35回土佐牛丸かじり大会(橋原町)
 9月21日(土) 四国四県町村長・議長大会(ANAクラウンプラザホテル松山)
 9月24日(火) 奈半利室戸道路建設促進協議会設立総会及び第1回総会(室戸市保健福祉センター)
 9月25日(水) こうち人づくり広域連合議会第45回定例会事前説明(北川村庁舎)
 9月27日(金) 消防団知事表彰旗受賞祝賀会(田中商店)
 9月28日(土) みどり保育所運動会(みどり保育所)
 9月30日(月) 全国交通安全運動(村内)
 中芸広域連合議会9月定例会(中芸広域連合体育館)
 高知県町村会第9回特別委員会(高知県自治会館)
 10月1日(火) 北川村議会常任委員会小水力発電施設視察(村内)
 10月2日(水) 奈半利川水利対策協議会視察研修(徳島県橋湾火力発電所、長安口ダム)
 10月3日(木) 北川村議会常任委員会小水力発電施設視察(岐阜県高山市)
 10月9日(水) 海部郡・安芸郡議長連合会高知県要望活動(高知県庁)
 10月10日(木) 農水省・財務省要望活動(東京都/農林水産省他)
 10月11日(金) 第12回高知東海岸グルメまつり&鉄道の日イベント(安芸タイガース球場駐車場)
 10月12日(土) 村民運動会(小学校グラウンド)
 10月13日(日) フランス出張(マルモッタン美術館等との交流、北川村モネの庭の状況確認、フランス語教育について意見交換 など)フランス シェルニー・パリ)
 10月30日(水) 第2回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会(特別養護老人ホーム愛光園)
 10月31日(木) 四国地区町村議会議長会研修会(サンポートホール高松)
 11月1日(金) 高知県戦没者追悼式(県民文化ホール)
 11月8日(金) 北川村議会第1回臨時会(北川村庁舎)
 11月10日(日) 慎太郎とゆずの郷祭り(北川村総合保健福祉センターほか)
 11月11日(月) 海部郡・安芸郡議長連合会中央要望活動(東京都/国土交通省他)
 11月12日(火) 町村議会議長全国大会(東京都/NHKホール)
 11月13日(水) 安芸郡町村議会議長会視察研修(茨城県美浦村)
 11月14日(木) 奈半利駐在所連絡協議会奈半利分会(ホテルなはり)
 11月15日(金) 中岡慎太郎墓前祭(松林寺)
 11月17日(日) 和田トンネル供用前の工事報告会(和田地区)
 11月20日(水) 北川村議会全員協議会事前説明(北川村庁舎)
 11月25日(月) 和田トンネル開通式打ち合わせ(北川村庁舎)
 11月27日(水) 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟
 11月28日(木) 本省要望活動(東京都/国土交通省他)
 11月29日(金) 中岡迂山記念全国書展表彰式(北川村総合保健福祉センター)
 11月30日(土) 北川村議会全員協議会(北川村庁舎)
 12月2日(月) 高知県町村議会議長会正副会長会・理事会(高知県自治会館)
 12月3日(火) 北川村議会連合委員会(北川村庁舎)
 12月6日(金) 中芸広域連合議会連合委員会(中芸広域連合体育館)
 12月6日(金) 中芸広域連合議会連合委員会(中芸広域連合体育館)

短歌教室

スーパースターのなるのコスモスかわいいな
 何度見てもいやされるなあ

山崎 昌子

ふとたまに甘えなくなる母さんの
 やわき胸中ぬくきふところ

新田 文江

千切りをほす庭の上今朝のこゑ
 春の小鳥ぞ嬉々とし聞ゆ

浜渦 静子

武士の世を終わらせ次は金の世に
 苦しみいや増す資本家の下

内藤 明信

冬の間の小春日和の暖かさ
 人はおらんし 飯は炊けたし

中村 武志

庭の梅白きほころびいつ咲くか
 ほのかな香り春は近し

田中 照喜

短歌クラブ 会員募集

短歌だけでもOKです。
 場所：北川保健センター
 (ポランティアルーム)
 日時：毎月第一火曜日
 午前10時～30分程度
 窓口：柏木顕彰会(中村まで)
 0887・38・2413



モネの庭 お知らせ



*** 25周年 Anniversary ***
お待たせしました♪ 春の開園♪

3月1日春の開園を迎えました。

今年はモネの庭の25周年!開園してから四半世紀がたち、北川村の自然に溶け込んだモネの絵画の世界をお楽しみください。

開園25周年を記念し、特設サイトを開設しました。美しい映像やフランス本家の方々からいただいたメッセージなどを掲載、さらに限定オリジナルグッズやカフェのメニュー、イベント情報などをご紹介しますので、ぜひご覧ください。



25周年
特設サイト



押し花アーティスト 杉野宣雄展
～牧野富太郎とクロード・モネ所縁の植物美～

牧野植物園との合同企画! 両園の植物を使って、制作された押し花の作品展です。

期間: 3月8日(土)～4月12日(土)
会場: フローラルホール (入場無料)



春のオープニングイベント
「チューリップ、チューリップ」



春の始まりはモネのチューリップから♪ 見どころをご紹介します!

■前期……早咲きのチューリップの丘

開催期間: 3月1日(土)～3月20日(木)

春の足音が聞こえてくる頃、モネの絵画をイメージした「チューリップの丘」が皆さまをお迎えします。早咲きチューリップ30品種2万3千本が丘で咲き誇ります。

■後期……「花の庭」季咲きチューリップ

開催期間: 3月21日(金)～4月13日(日)

本格的な春の花のシーズンが到来。130品種、2万本のチューリップが庭を華やかに彩り、いろいろな草花との共演が楽しめます。

／ EVENT ／ モネのチューリップ祭

開催日時 2025年3月22日(土) 10:00～15:00

音楽やキーワードラリー、ガラガラ抽選会など♪

※最新のイベント情報は HP をご確認ください。



【お問い合わせ】

北川村「モネの庭」マルモッタン

〒781-6441

高知県安芸郡北川村野友甲1100番地

☎0887-32-1233 ☎0887-32-1243

<https://www.kjmonet.jp/>



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～ 中芸地域の日本遺産魅力発信便り Vol.92 ～

日本遺産
第3号認定
登録番号051



【中芸のゆずと森林鉄道日本遺産写真展を開催しました】

中芸地域のストーリー「森林鉄道から日本一のゆずロードへ」は、高知県単独では唯一の日本遺産です。この中芸日本遺産について高知県内で広く知ってもらうため、構成文化財や中芸地域の観光スポットなどの今と昔の写真約 100 点を比較して展示する『中芸のゆずと森林鉄道日本遺産写真展』を、四万十市総合文化センターしまんとぴあで1月24日(金)～2月2日(日)の期間に開催しました。

高知県西部での写真展開催は初めてでしたが、森林鉄道や歴史に関心がある方など、さまざまな方に足を運んでいただきました。中芸地域に関心を持って訪れてくれる方が増えるよう、今後も機会を見つけてこのような写真展を開催していきたいと思っています。



お問い合わせ先:

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局 (安田町役場日本遺産推進室内)

TEL: 0887-30-1865 FAX: 0887-30-1866

メール: yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

HP: <https://yuzuroad.jp/>

Q ゆずとりんてつ 検索

HP



Facebook



Instagram



ガイド会9コース
パンフレット



北川村観光協会 NEWS ニュース

NEWS

1 旅行会社向け商談会に参加しました

1月23日(木)に高知市で行われた旅行会社造成担当者向けの商談会に参加しました。県内市町村の宿泊施設や観光協会などが中四国地方の旅行会社18社にむけて直接PRを行いました。

今回は春から始まる連続テレビ小説「あんぱん」を契機に高知への観光振興に生かすため、モニターツアーも開催されました。

北川村は「あんぱん」に関連する土地ではありませんが、あんぱんをきっかけに北川村も立ち寄る場所の候補地に入るよう、モネの庭、中岡慎太郎先生顕彰会の担当者と共に旅行会社への説明を行いました。東部地域は短い期間の旅行日程だと選ばれることが難しいため、魅力的に思ってもらえるよう引き続き村内施設との連携を取りながら広報活動をしてまいります。



NEWS

2 アンテナショップ「とさとさ」にて北川村のPRを行いました

「KITTE大阪」に昨年の夏オープンした高知のアンテナショップ「とさとさ」にて1月25日(土)、26日(日)に「どっぴり高知旅イベント」が開催され、北川村も出店しました。

とさとさの隣接スペースにて高知県や東部観光協議会等が地域の情報発信などを行い、北川村はとさとさ店舗内にてゆずぽん酢、ゆず味噌、かんばもちなどの物産販売や観光パンフレットの配布を行いました。

KITTE大阪には高知以外にも日本各地のアンテナショップが出店していて、地域色あふれる物産や観光を楽しめる場所となっています。地元をPRするためのディスプレイの仕方など各店舗が工夫を凝らしているのを直接見る事ができたので、今後のイベント参加時に生かしてまいります。



北川村観光協会 TEL & FAX 0887-30-1972 / 080-8638-6211 (スタッフ直通：橋本、山脇)

中岡慎太郎先生顕彰会だより

中岡慎太郎先生顕彰会 0887-38-2413

北川村史談会収蔵品展とファンアート展

1月から開催している北川村史談会収蔵品展に加え、一部展示ケースを入れ替え、幕末ファンによる『幕末ファンアート展』を開催しております。

ファンの方たちのご協力により、アート作品の他にもアニメーション動画や音声ガイドを展示会場にて放映しております。また坂本龍馬記念館にもご協力いただき、坂本龍馬記念館内にある『海に見える・ぎやうりい』にてファンアート展の告知動画を放映していただいております。

大好評いただいております史談会収蔵品展と併せて、高知県内外から寄せられたアート作品をお楽しみください。

イベント詳細

- ◆ 会期：2月26日(水)～3月24日(月)
- ◆ 会場：中岡慎太郎館2階 多目的ホール

慎太郎学習会

今年度最後となる慎太郎学習会は、中岡慎太郎が周旋家として各勢力を結びつけようとした事柄について解説いたします。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

イベント詳細

- ◆ 開催日時：3月16日(日) 13:30～15:00
- ◆ 開催場所：中岡慎太郎館2階 多目的ホール





地域おこし協力隊日記



【いこいの里2周年 ―集落の未来にむけた新たな一歩―】

北部地区集落再生コーディネーターの吉永みことです。

『いこいの里』のシンボルとなっているテラス付き小屋は、面している道路拡張工事の影響で取り壊すことになりました(テラスは残ります)。集落にとって歴史を物語る思い出深い現小屋もありますが、老朽化に伴い今後の管理のことを考えて集落のみんなで話し合いを行った結果「心機一転で新築しよう」とコンパクトな小屋を新築する方向に意見がまとまりました。そして道路側に植えられた桜も、長きの間集落と共に成長してきたので名残惜しいところもあるのですが、今回の工事で撤去を予定しております。

一般的に良いこととされている【整理すること】や【変化していくこと】には、慣れ親しんだものを手放す寂しさや新しいことへの不安などが付いてくる側面もあるので、実行にあたって慎重さも持たなければいけないという思いも大切にしつつ。今回の件については、集落が健全に存続していくために必要な【進化】と捉えて、今年の春の桜をしっかりと見納めできればと思います。

まだ具体的な内容や日程は未定ですが、『いこいの里』2周年記念のお花見も計画できればとの話題も出ているので、ご予約の合う方はよかったらぜひお立ち寄りください(^^)♪



【3年間、お世話になりました!】

こんにちは!北川小中学校でICT支援員・地域コーディネーターとして活動している地域おこし協力隊の中村です。2022年3月に着任してから早くも3年がたち、2月末をもって任期満了となりました。

この3年間、村民の皆さまには生活面でのサポートから、子どもたちがさまざまなことに挑戦できる環境づくりまで、たくさんの助けをいただきました。縁もゆかりもない私を温かく迎え入れてくださったおかげで、困難な時期も乗り越え、最後まで走り切ることができたと思っています。限られた時間ではありましたが、子どもたちが多くの人と関わりながら挑戦し、成長する姿をそばで見られたことは大きな喜びでした。子どもたちの成長に少しでも寄与できていれば幸いです。

4月からは東京に戻り、民間企業で全国の高校の探究活動を支援する仕事に就きます。北川村で届けてきた学びの場を、今度は全国の高校生に広げていきたいと考えています。なお、3月末日までは地域おこし協力隊の任期を終えた後も、引き続き北川村で現在の仕事を続けます。この3年間本当にお世話になりました。残りの1カ月もどうぞよろしくお願いいたします。



【「ゆずを作りたい!」と移住を決めました!】

こばやし まこと

みなさんこんにちは! 2月に地域おこし協力隊に着任した小林誠です。岐阜県出身の21歳で、島集落へ移住しました!

高校では有機農業を学び、栽培の楽しさや難しさ、作物のおいしさを勉強し、卒業後は愛媛県のみかん農家の元で1年間研修をしました。その後、2年続けて北川村でゆずの収穫を手伝わせていただき、「自分もゆずを作りたい!」と思い移住を決めました。

まだまだ勉強中ですが、北川村のゆず栽培のプロの皆さんに1から教わりながら、将来的には自分らしいゆずを育てたいです。体力には自信があるので、地域のためにも頑張ります!どうぞよろしくお願いいたします!





ゼイン・セリダ

Zane
Sereda

ALT
外国語指導助手

Hello March! The warm weather is coming.

ご近所の皆さん、お友達の皆さん、こんにちは。ご要望にお応えして、みなさんからいただいた質問に Q&A 形式でお答えしようと思います。

Q1：ゼインは北川村のゆずが世界一だと思っていると噂がありますが、本当ですか？

A：噂は本当ですよ。私は北川村にきて、高知県内のさまざまなゆず製品を試してきましたが、北川村のゆずは本当においしく、最高だと思っています。

Q2：北川村で一番好きな神社はどこですか？

A：加茂の星神社がお気に入りです。近くに住んでいて、自宅からも歩いて行ける距離だからです。日曜日によくいくのですが、翌週に備えて心を落ち着かせています。時々、神社の階段で猫が寝ていることもあって、心地よいです。

Q3：北川村で一番好きなレストランはどこですか？

A：ああ！選ぶのが難しいですね。・モネの庭の素晴らしい料理、いごっそラーメン店長の心温まるラーメン、慎太郎食堂の家庭的な料理…どれもお気に入りです。最近行った「喫茶 SAKAYA」での食事は特別なごちそうでした。

Q4：北川村で一番好きなアクティビティは何ですか？

A：閉店間際の温泉に行きます。人が少なくとてもリラックスできます。スタッフは楽しくて親切な人たちがばかりです。

Q5：もっとゼインと話をしてゼインのことをもっと知りたいのですが、どうしたらいいですか？

A：とてもうれしいです。毎週木曜日、午後 6:30 から 7:30 まで、村民会館で英会話教室をしています。無料ですので、ぜひお越しください！



.....



コビ・セナ

Coby
Sena

CIR
国際交流員

早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。今回は、お弓祭りと人権学習発表会についてお話しします。

私は6年生と一緒に北川村の伝統的なお祭りについて学ぶため遠足に参加しました。当日は6年生の瀧岡俊太郎君が、「矢取り」として、祭りに参加していました。村の伝統と文化を見て学ぶ機会を得られたことに、とても感謝しています。

お弓祭りが行われた木積星神社は私がこれまで一度も行ったことのない地域でした。とても美しい場所で、山や木々を通して自然の力強さを感じることができました。神社までの階段は少し大変でしたが、「弓引き」はとても印象的で、とても小さな的を射るにもかかわらず、的を射ることができた人もいました。弓引きの練習は、精神面の鍛錬にもすぐ役に立つと思いました。

帰り際に初めての焼き餅を食べてみましたが、早く食べ過ぎてむせそうになりましたが、とてもおいしかったです。

1月18日(土)には小学校の人権学習発表会がありました。生徒たちはさまざまな歌を通して学んだ手話を発表してくれました。私は手話を学んだことはありませんでしたが、特定の単語に注目して手話でどのように見えるか試してみるのを楽しみました。覚えている手話は「ふるさと」、「山」、「川」、「日」、「発表会」など、ほんの少しだけです。「約束」も知っていますが、これは聴覚障害者の主人公が登場する映画「聲の形」で覚えました。小指を結んだ約束のように見えるので覚えやすく、素敵だと思います。私はアメリカでも手話を学ぶ機会がなかったのですが、手話で「拍手」と、アメリカの映画で覚えた侮辱の言葉しか知りませんでした。生徒たちが一生懸命に学び、勉強してきたことを発表できたことは素晴らしいことだと思いました。皆さんはどんな手話を知っていますか？





田野病院だより

「人生会議」について

「人生会議」という言葉を耳にしたことはありませんか？「人生」というと何か大ごとのように感じる方がいるかもしれません。「人生会議」（ACP：アドバンス・ケア・プランニングの略）とは、自分自身が大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて前もって考え、信頼する人たちと話し合うことといわれています。

突然の病気やけがによって、生命の危機にさらされたとき、自分の思いや希望を他者に伝えたり、その後の医療やケアを自分で決めたりすることは、難しい場合が少なくありません。自分自身のことであるにもかかわらず、もしものときには自分の意思を伝えられない、想像すると何ともいえない気持ちになります。

病院での医療やケアに限らず、在宅医療や看護・介護においても、人生の最終段階でどのようなケアを希望するのか、繰り返し話し合っておくことは大切なことだと思います。もしものときに、『わたし』が伝えた思いを、家族や大切な人が、『わたし』に代わって伝えてくれるかもしれません。

では、何から始めればよいでしょう。自分がやりたいこと、今考えていること、思いつくままに一度書き出してみるのもよいかもしれません。そして最期まで自分らしく生きる準備をするために、自分の思いを整理し、書き記してみてもよいでしょう。

例えば、

- 大切にしていることや伝えておきたいこと
- 意志表示ができなくなったときに、代わりに物事を決めてもらう人
- 療養場所や最期のときをどこで過ごしたいかなど

気持ちや考えはそのときの状況によって変化し得るもの、何度でも書き直せます。高知県が作成したリーフレットを外来にも置いています。よかったら手に取って、今の思いをつづってみませんか。そして家族や大切な人にその思いを話してみませんか。

田野病院 地域医療連携室 今井 恵美



南国年金事務所のご案内

1000 年・金・だ・より

受付時間 ○月曜日～金曜日 8:30～17:15 ○週明けの開所日 8:30～19:00 ○第2土曜日（3月8日） 9:30～16:00

休業日 ○土日祝日 **ご連絡・予約先** ☎088-864-1111（ナビダイヤル）

※長時間お待たせすることがないように、予約をおすすめします。

◆出張年金相談日程

相談日	時 間	場 所	予約先
3月 6日(木)	10:00～12:00 13:00～15:00	安芸市防災センター	南国年金事務所
3月27日(木)	11:00～12:00 13:00～15:00	室戸市役所	室戸市役所(☎22-5131)または南国年金事務所

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

20歳以上の方は、原則として毎月、保険料を納めなければなりません。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、申請により在学中の保険料が猶予される「学生納付特例制度」があります。

○対象になる方：大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（※）に在籍する学生

※学校教育法で規定されている修業年限が1年以上の課程のある学校

<前年所得の目安> 128万円 + (扶養親族等の数 × 38万円) で計算した額以下

ただし、学生納付特例の承認を受けた期間があると、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなりますが、承認を受けた期間の保険料は、10年以内であれば、後から納めること（追納）もできます。

詳しくは、日本年金機構のホームページをご覧ください。住民課や年金事務所までご連絡ください。

人権相談のご案内(3月分)のお知らせ

●相談日時 3月12日(水) 10時～15時 ●場所 保健センター

※事前予約制 3就業日前までに住民課までご連絡ください

高知地方法務局安芸支局の職員がご相談をお受けします。セクハラやパワハラ、家庭内暴力、体罰やいじめなど、「自分の悩みは人権侵害かも?」と思ったら、1人で悩まず、お気軽にご相談ください。秘密は守ります。相談は無料です。

保健だより



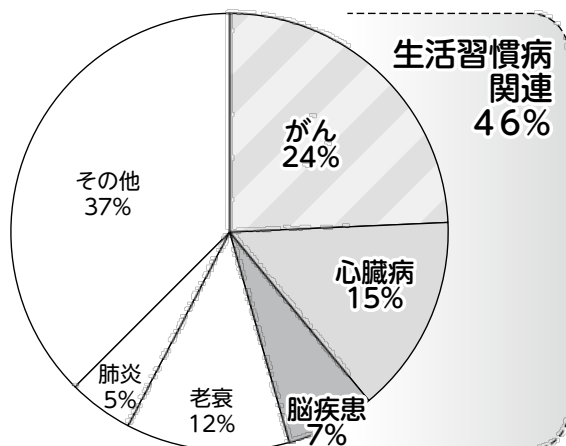
健診のご案内

～自分は大丈夫と思っていませんか～



日本人の主な死因（%）

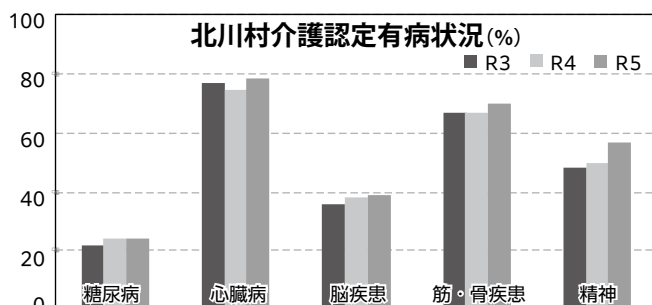
厚労省：R5人口統計より



厚労省が発表した令和5年度人口統計によると、日本人の主な死亡原因はがん、心臓病、脳疾患であり、全体の46%を占めています。

また、北川村の介護認定の直接的な要因は心臓病、筋骨疾患、認知症を含む精神疾患が年々上昇傾向にあります。

これらは生活習慣病の重症化により進行したものが多く含まれています。



国保データベース：健診・医療・介護データから見る地域の健康課題より

今月は「健診のご案内」が届きます

- 生活習慣病のリスクを高める「メタボリックシンドローム」に着目した健診です。
- 持病などで通院中の人でも対象です。
- 北川村村民は、無料でがん検診を受けることができます。
- 定期的な健診により、病気の発生を未然に防ぎましょう。



上記のご不明な点や健康相談等、お気軽にご連絡ください。

大切なご案内です。
必ず目を通しましょう。

北川村役場 住民課
管理栄養士 中本 まで
☎0887-32-1230

四国南東部広域観光連携協議会

イベント情報コーナー Vol.21

3月各地のイベント情報をお知らせします。

イベント名	開催時期・期間	場 所	問い合わせ先
出羽島アート展 2025	3月22日（土）～ 3月30日（日）	出羽島 （徳島県牟岐町）	牟岐町教育委員会 0884-72-0107
特別展 「安芸のおひなさま」	2月8日（土）～ 4月13日（日）	安芸市立歴史民俗資料館 （高知県安芸市）	安芸市立歴史民俗資料館 0887-34-3706
町制施行100周年 記念企画展「やすだの百年」	3月15日（土）～ 7月13日（日）	安田まちなみ交流館・和 （高知県安田町）	安田まちなみ交流館・和 0887-38-3047



（一社）高知県東部観光協議会
高知県東部イベント情報



（一社）みなみ阿波観光局
徳島県南部イベント情報

※内容の詳細については、上記問い合わせ先までお問い合わせください。

みどり保育所

PHOTO通信

生活発表会



ひんにすは 1歳になりました

田所さんご一家

紗奈さん (令和6年2月21日生まれ)

お父さん、お母さんから一言
「たくさん食べて、元気に育ってください」



行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・備考
乳児健診	3月5日(水)	(受付) 12:45～13:15	奈半利町防災センター
1歳6カ月・3歳児健診	3月19日(水)	(受付) 12:45～13:15	奈半利町防災センター
野友介護予防教室	3月6日(木)・13日(木)・27日(木)	9:30 ～	北川村保健センター
加茂介護予防教室	3月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)	10:00 ～	北川村農業センター
久府付介護予防教室	3月5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)	10:00 ～	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	3月6日(木)・13日(木)・27日(木)	13:30 ～	柏木交流センター
野川さくら会	3月5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水)	9:15 ～	野川交流センター
長山せせらぎ会	3月4日(火)・11日(火)・18日(火)・25日(火)	9:30 ～	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	3月6日(木)・13日(木)・27日(木)	13:30 ～	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	3月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)	9:30 ～	小島集会所
島バラ会	3月27日(木)	10:30 ～	北部集会所
ぺちゃくちゃ会	3月5日(水)	10:00 ～	北川村保健センター
親子ふれあい広場	毎週火曜日	9:00 ～	ゆずの花
ゆずみどり	毎週火曜日	9:00 ～	ゆずの花

団体活動のための小さな掛金大きな補償

スポーツ安全保険

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、レクリエーション活動などを行う4名以上のアマチュアのクラブ・サークル・グループが加入できます。



保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

インターネットでかんたん加入
<https://www.sportsanzen.org>



公益財団法人スポーツ安全協会